

～「志」を宿し、「いかに生きるか」を考えるために～

生徒指導通信



ネットトラブル防止



2019年、大阪Z小学校6年生の女子児童が R.8.1.28. (OK) No.36

行方不明となり、栃木県で無事保護されたという事件がありました。事の発端はSNSでの犯人との接触からでした。ネット上では本当の気持ち(悪意や攻撃性)を隠して接触することができるので、ネット上で知りあった誰かと、直接会ったりすることはとても危険

です。絶対にやめましょう。先日、生徒のみなさんに協力していただき「スマホ等、インターネット利用実態調査」を実施しました。*前に行った調査では「トラブルに遭ったことがある」という中学校の生徒数は秋田市全体では300名ほどと少なからぬ数でした。主なネットトラブルや被害(複数被害者有)は、誹謗中傷(誹謗...ぞし)ののしること、事実無根の悪口を言うこと/中傷...人をおとしめるために悪く言うこと、人の名誉を傷つけること)、迷惑メール、メールトラブル等でした。▼本校では生徒にスマホ等は校内に持ち込まない



ことはもちろん、利用の仕方についてはトラブルに発展しないよう再三指導しています。また、ご家庭で生徒にスマホ等を持たせる場合には、フィルタリング機能の使用をすることや、SNSなどに個人名、顔写真、誹謗中傷の投稿、掲載等については絶えずに行われていかに指導することを繰り返しております。▼これまでも個人情報などを載せたことにより様々なトラブルに巻き込まれる事例が秋田市内でも報告されていますし、重大な事件に発展したケースもあります。メールやインターネットへの書き込み等は相手の顔が見えないので容易にエスカレートし、誹謗中傷、悪口、脅し文句がどんどんふくらんで收拾がつかなくなってしまう傾向が見られます。誰も分からないだろうと、安易な気持ちで書き込みをしても、事件になると警察が配信先を調べます。自分の発言、発信によって誰かを傷つけることにはいかに、自分が言われたらどんな気持ちになるかといふことを考えネット上の発言は慎重に行うことが大事です。インターネットは正しく使えば非常に優れた『文明の利器』となりますが、誤った使い方をすれば『凶器』となることを十分に頭に入れて付き合っていきたいものです。